

RI テーマ



ロータリーは機会の扉を開く

創 立 / 1954 年 (昭和 29 年) 6 月 30 日

事務局 / 〒915-8522 越前市塚町 101 武生商工会館内

TEL. 0778-23-5210 ・ FAX. 0778-22-2333 E-mail : takefur@es.ttn.ne.jp

TAKEFU WEEKLY

Rotary



例会日 / 毎週火曜日

例会場 / 武生商工会館

会 長 / 白崎 弘康

幹 事 / 三田村 士郎

会報委員長 / 柿谷 好彦

第 3172 回 例会 記 録 令和 2 年 10 月 27 日 (火)

本日出席会員 38 名

メイクアップ (前々回) 2 名

出席率 (前々回補正) 73.08%

ロータリーソング「我らの生業」

ゲスト : 米山奨学生 グエン ホアン カンさん

地区米山奨学委員 大刀 隆雄会員

副会長挨拶 副会長 小林 幸一

会員総数
52名

皆さんこんにちは、また私が出て来ましたが、出られない白崎会長も大変辛い思いをしているのだろうと私は思っております。今日の電話で、来月はクラブ協議会、12月はガバナー公式

訪問となりますが、それまでに体調を万全に戻して下さいとお願いをしておりました。今日のゲストの紹介を申し上げます。地区委員の米山奨学委員の大刀様、それから奨学生のグエン ホアン カンさん、ベトナムから来られております。後ほどスライドを交えて卓話をして頂きますので楽しみにして下さい。カンさんは、ベトナムの中でホーチミンの出身だそうです。それを聞きまして私も20数年前にベトナムに15・6回工場を作ろうと通っていました。しかし、二つの要因がありまして、バブルが崩壊した事ともう一つは契約の段階で土地と建物の使用料が今まで交渉していた元の3倍を言われまして止めました。今やっていたら、私の会社はベトナムで素晴らしい会社になっていたと悔やんでいます。

さて皆さん、自粛解除もされて大分景気が良くなって来ていると思いますが、私たちの家具を作っている会社では3月の下旬から4月、5月、6月の中ごろまで昨年と比べて半分までに注文が減ってしまい、大変な事で会社の存続がもつかと思っていました。しかし、自粛解除した事と10万円の特別定額給付金があっ

た事で、高級な家具が売れる様になって来ました。これは巢籠りと言いますか、家の中にいる時間を大切にしよう、家族を大切にしよう、長い時間どの様にして自分の時間を大切にしようという風潮になって来たのか、これがずっと続くのか、一時的なのか分かりませんが時間短縮とか働き方改革という事で、家で過ごす時間が増えて来ています。その様にライフワークが変わる様になって来ている気がします。一人一人のライフスタイルは今より幸せに、より楽しく、より安全を願っていることは間違いありません。この様な事を考えて行きますと、最近のキーワードは環境という事が出てきていると思います。そういう意味では、私たちの作る商品も末端の生活者が要らなくなったとき、どの様に分別して廃棄して行ける様にしていくのか考えて行く企業が、世の中に存続していけるのではと最近思う様になって来ました。まだまだ未知数ではありますが大変コストが掛かります。目先では皆さんが物を買うとき高いかも知れませんが、要らなくなったとき廃棄する時に買った人が全部分別をしなければいけないか、又は産廃業者に高いお金を払って引き取ってもらう事になります。こうした事が私たちの業界では問題になって来ています。例えばベッドなどでは、スプリングが入っていますが、マットからスプリングを外さないといけませんが、作る方は大量生産で作っていますが、この様な環境に改良していく事は全てにおいて必要だと最近思う様になりました。皆さん新しい知恵を出してコロナ禍を考えて行く時に来たのかと思います。ありがとうございました。

プログラム

地区委員挨拶 地区米山奨学委員 大刀隆雄会員



2650地区米山奨学地区委員の大刀です。米山奨学金について説明をさせていただきます。事業の使命としまして「将来、日本と世界とを結ぶ「架け橋」となって国際社会で活躍し、

ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成するこ

とです。これはロータリーの目指す“平和と国際理解の推進”そのものです。」と書かれています。要するにロータリーを理解して頂く事と、日本とそれぞれの国との懸け橋になって頂く人を、奨学生として選んで頂くとご理解頂きたいと思ひます。「なぜ、外国人留学生を支援するのか？」第2次世界大戦から二度と戦争の悲劇を繰り返さない為、平和日本を世界に伝え、国際親善と世界平和に寄与したいという意図が籠められています。経済的に日本へ来て苦しいとかそうゆう事を奨学生に支援する意味合いではなく、経済的な事よりも目的である「架け橋」となれる人材を選んできています。

米山奨学生卓話

「留学生の光栄なこと」 ゲエン ホアン カンさん



僕は、ベトナムにいた高校生の時、自分のうちの経済状況を見て、大学や大学院に入ることはどうして難しいことだと思ひていましたが、今、僕は日本の大学の1年生をしています。僕が日本に留学してから、あっという間に今年で6年目になりました。今までの5年間、たくさんの目標を達成したとともに、失敗したことも少なくありません。達成した目標のなかで、僕にとってとても光栄なことが二つあります。一つ目は自分が「人々の健康を守る研究者になる」という夢を変えずに、一歩ずつ進んでいること。二つ目は「米山ロータリーの奨学生」になっていることです。今日はこの二つについてお話ししたいと思います。

一つ目：僕の夢は将来、人々たちの健康を守るための新たな機能食品を作ることです。福井県とベトナムの同じところは、綺麗な海があり、豊かな海産物があるところです。海の植物として海藻は日本だけで1500種類以上があります。さらに様々な種類は生命に必需な成分（繊維や、ビタミンなど）を含めています。日本は先進技術で海藻からたくさん食材、薬、機能食品を作り出しました。逆に、ベトナムの海藻はほとんど簡単に加工して、家畜の餌や輸出原料など、あまり価値がたかくなかったです。将来、僕は日本で勉強した知識、技術を使って、日本または母国の海藻から良い健康効果がある成分を見つけて、新たな機能食品をつ

くりたいと思ひます。そして、僕の光栄なことの二つ目は「米山ロータリー奨学生」になったことです。親から仕送りが無い私費留学生たちは、入学してから、みんな奨学金を目指します。例外ではなく、僕も福井県立大学に入ってから自分が応募できる奨学金を全て申し込みました。自分の努力に幸運も重なって、1年次、2年次、3年次の三年間、江守アジア留學生育英会の奨学生にさせていただきました。大学3年の時、このまま大学院に進学して研究を続けたいという思ひもありながら、経済的なこともあり、大学院に進学するか就職するかという自分の進路を迷っていましたが、米山ロータリー奨学生に合格できたという知らせを聞いて、大学院に進学することを思ひ切りました。米山ロータリーの奨学金をいただけたおかげで、これまでずっと生活と学費のためにアルバイトに費やしていた時間を自分の研究や勉強などにまわらせて、そちらに集中することができました。

くりたいと思ひます。

将来、福井とベトナムの懸け橋となることが、今の自分を支えてくれている福井への恩返しであると思ひるようになりましたので、大学、大学院で自分が習った知識、技術を福井県に生かして、福井県に貢献したいと思ひます。来年、僕はできれば福井県の企業に就職したいと思ひています。今年からの新型コロナウイルスの影響で、来年の僕の就職活動もかなり厳しいと思ひますが、福井ロータリークラブの方々の期待に応えられるように頑張りたいと思ひます。今後ともどうぞよろしくお願ひ致します。

【地区米山奨学委員 大刀隆雄】
・米山月間にちなみ、大刀地区米山奨学委員と米山奨学生カンさんをお招きして。よろしくお願ひします。
【小林幸一】
・大刀さん、カンさん本日はよろしくお願ひします。
【田中 茂】【田中大成】【三村昌之】
・ちょっと 【宮前貴司】【西野昌美】
・結婚記念自祝 44回目の記念日でした。【市川隆成】

ニコニコ箱・・・14,000円 累計 339,500円

・米山奨学月間です。よろしくお願ひします。

【地区米山奨学委員 大刀隆雄】

・米山月間にちなみ、大刀地区米山奨学委員と米山奨学生カンさんをお招きして。よろしくお願ひします。

【小林幸一】

・大刀さん、カンさん本日はよろしくお願ひします。

【田中 茂】【田中大成】【三村昌之】

・ちょっと

【宮前貴司】【西野昌美】

・結婚記念自祝 44回目の記念日でした。【市川隆成】

例会変更情報／福井県内ビジター受付（11月11日～11月24日）

ビジター受付はありません。

*変更の無い各クラブの定例会については、ロータリーの友ホームページ等にてご確認ください。

本日(11月10日)例会
第一例会行事
新入会員卓話
鎌谷孝之会員

11月17日
炉辺会合発表
テーマ：コロナ禍での
ロータリー奉仕活動について

11月24日
休会

12月1日
ガバナー公式訪問